



大分県（株）高橋製茶

『有機緑茶をEUへ』

【主な品目】

有機緑茶

【主な輸出先国・地域】

ドイツ、フランス、デンマーク、アメリカ

【輸出取組の概要】

- ◆ 食の安全・安心にいち早く着目し、平成13年に大分県で初めて有機JAS認証（大分県第1号）を取得。
- ◆ 健康志向の高い欧米をターゲットに有機緑茶の海外展開を進めるため、大分県やジェトロが開催する輸出商談会に出品。
- ◆ 米国を中心とした抹茶の需要拡大もあり、年々輸出量が増加。

【輸出実績】（平成27年度より輸出開始）

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
令和6年度	1,093	11.1	通年
令和5年度	530	8.6	
令和4年度	371	5.6	



映画「種まく旅人～みのりの茶」の舞台となった自慢の有機栽培茶園

【取り組む際に生じた課題及び輸出後に抱えた課題】

- 1 県などのサポートにより、平成24年から香港などアジア圏へ有機緑茶の輸出を試行。しかし、アジア圏ではオーガニックの認知度が低く、安価な中国産の緑茶が高いシェアを占めており、継続的な取引に至らず。

【生じた課題への対応】

- 1 アジア圏よりもオーガニックの志向が高い欧米へ販路を転換。
- 2 県の支援を受け現地での商談を実現。また、ジェトロが開催する輸出商談会へ継続的に参加。



有機緑茶

【対応の結果】

- 1 平成27年度にドイツのバイヤーと商談が成立し、輸出を開始。
- 2 ドイツへの輸出を契機に、海外の新たなバイヤーが来訪し茶園を視察するなど、販路拡大に向けた商談を展開。
- 3 米国への輸出も開始し、抹茶を中心とした有機緑茶の輸出量が拡大。

【今後の課題・展望】

- 1 抹茶の需要増加に対応した、てん茶製造施設の整備による原料供給体制の強化。
- 2 抹茶の加工工程に必要な人員の確保。
- 3 海外の大学に在籍する学生の受け入れを通じ、日本茶の良さを海外に情報発信。

【活用した支援・施策】 大分県、ジェトロ輸出商談会

【ウェブサイト】 <http://www.tkhs-cha.com>

【連絡先】 担当者名：代表取締役 高橋 雄三、TEL：0974-32-4219



外国人研修生を受け入れたときの様子